

Rec'd PCT/PTO 09 FEB 2005
日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

PCT/JP03/06307

21.05.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

REC'D 11 JUL 2003

WIPO

PCT

出願年月日

Date of Application:

2002年 8月 7日

出願番号

Application Number:

特願2002-230316

[ST.10/C]:

[JP2002-230316]

出願人

Applicant(s):

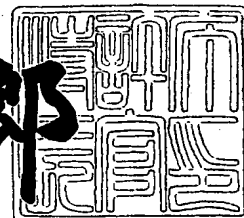
バイオインターナショナル株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 6月27日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2003-3050889

【書類名】 特許願

【整理番号】 DSKP-29504

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造殿

【国際特許分類】 A62B 18/02
A62B 23/06
A62B 37/00
A61H 35/04

【発明者】

【住所又は居所】 愛媛県松山市美沢1丁目8番57号

【氏名】 東原 弘享

【特許出願人】

【識別番号】 501331212

【氏名又は名称】 バイオインターナショナル株式会社

【代理人】

【識別番号】 100071892

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 隆一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 000295

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 鼻マスクの製法及び製品

【特許請求の範囲】

【請求項1】 鼻孔より鼻前庭へ取り付け軸を入れて、マスク部を鼻腔の奥に装着される取り付け軸の先端部に複数のマスク部を選択的に装着することが出来る鼻マスクであって、水中演技及び空気中に浮遊している汚染物質である、花粉、塵埃、悪臭の濾過、鼻の治療等の用途に対応出来る様々な種類のマスク部を選択的に利用する事が出来る鼻マスクの製法。

【請求項2】 マスク部の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形して、その底面の中心に装着穴を穿ち、取り付け軸の先端部をマスク部の前記装着穴に装着することを特徴とする請求項1に記載の鼻マスクの製法。

【請求項3】 マスク部の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形して、その底面の中心に装着穴を穿ち、取り付け軸の先端部をマスク部の前記装着穴に接着することを特徴とする請求項1に記載の鼻マスクの製法。

【請求項4】 マスク部の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形して、その底面の中心に装着穴を穿ち、取り付け軸の先端部をマスク部の前記装着穴に溶着することを特徴とする鼻マスクの製法。

【請求項5】 マスク部の2枚の原版を合わせて、2枚の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形すると同時にその合わせ目に取り付け軸の先端部を挟着して溶着することを特徴とする鼻マスクの製法。

【請求項6】 鼻孔より鼻前庭へ取り付け軸を入れて、マスク部を鼻腔の奥に装着される取り付け軸の先端部に異なる種類のマスク部を自由に選択して装着することが出来る鼻マスクであって、水中演技及び空気中に浮遊している汚染物質である、花粉、塵埃、悪臭の濾過、鼻の治療等の用途に対応出来る様々な種類の鼻マスクを選択的に利用する事が出来る鼻マスクの製法により製造される鼻マスク。

【請求項7】 取り付け軸の先端にマスク部の中心を装着している取り付け軸を鼻の穴より鼻前庭に入れて鼻中隔を挟み、マスク部を鼻の奥に支持して、鼻腔内で鼻マスクが移動して取り付け軸が粘膜の表面に直接触れず、取り付け軸の接触による刺激を生じさせないようにしたことを特徴とする請求項6に記載の鼻マスク

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明に係る鼻マスクの製法及び製品は、鼻マスクの使用者が取り付け軸に異なる種類のマスク部を選択的に装着して、鼻腔内に差し込み、鼻前庭に差し入れて鼻中隔を挟着して、鼻腔内にマスク部を装着することが出来るようにした鼻マスクの製法及び製品に関するものであり、花粉や煤塵などの吸入を防止する濾過用マスク、鼻葉を吸湿性のあるマスク部に含浸させて気化して吸引する治療用具並びに水中演技用の鼻栓としても使用される鼻マスクを提供することを目的とするものである。

【0002】

【従来の技術】使用の際に鼻孔に装着されるマスクに関して、特開平8-71170号、特開平9-294819号、特開平11-137702号、等の公開特許公報が発行されている。これらの公報に公開された鼻マスクは、鼻孔の入り口にフィルターを挿入若しくは鼻孔をフィルターで覆うものである。これらのフィルターは、汚れた空気を通過させて清浄にするために濾過材として使用する。フィルターを鼻孔に入れる装着具は、鼻孔の入り口若しくは鼻の頭に装着するように構成されている。このために、従来の鼻マスクは、鼻孔に挿入されるフィルターで鼻が膨らんだり、鼻孔を覆うフィルターを装着するための装着部によって、鼻の頭を覆う等により鼻の美観を損ねるものである。

【0003】然しながら、鼻マスクは本来汚れた空気を清浄にして吸入する事だけを目的としているものではなく、汚れた空気の濾過をすることを目的とすると共に花粉症など鼻の治療用具として、又水浴の場合には水中演技の際に鼻栓として使用する事も出来る多機能を有するものである。空気中に浮遊している浮遊塵は、花粉、汚染塵、悪臭等様々であり、その吸入を防止するために鼻孔に装着されている従来の鼻マスクは、装着具にマスク部が固定される構造になっているので一種類のマスクに限定されている。従って、従来の鼻マスクは、いろいろな種類の浮遊塵、治療、水浴、にそれぞれ対応出来る多機能鼻マスクを使用者が好みによって選ぶ事が出来るものではなかった。又、鼻の穴の外に近い位置にマスク

があるので外れ易く、装着しても鼻の穴を大きく広げて顔の美観を損ねる等の問題が有った。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、鼻マスクの取り付け軸の先端に機能が異なる数種類のマスク部を使用者が自分で選択的に装着出来る新しい鼻マスクの製法に関し提案されるものである。

【0005】その製品の鼻マスクは、鼻腔に装着しても美観を損ねる事なく、鼻孔の奥へ、花粉、悪臭、塵埃等の吸入を防止する、鼻の治療をする、或いは水中演技する際に水の侵入を防止する等の機能別に使用者がマスク部を選択して取り付け軸の先端に装着する事が出来るようにする事を目的とする鼻マスクを提供しようとするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明に係る鼻マスクの製法は、機能の異なるマスク部を自分で選択して取り付け軸に取り付け、鼻孔より鼻前庭に取り付け軸を差し入れて、鼻中隔を挟み鼻腔に装着するよう形成される取り付け軸と軸先端に差し込まれるマスク部からなる鼻マスクの製法に関する。取り付け軸は略U字状の先端をマスク部の装着穴に差し入れて装着する。マスク部は、通気性がありかつ液体の吸湿性のよい繊維製、水の浸透性がないゴム等の機能別材質からなる。その材質により、汚染空気を濾過することが出来る細かいメッシュを有し浸透性のある液体を含浸可能にしてあるものもあり、鼻の美観を損ねる事なく、汚染空気の吸入を防止、治療用として利用出来る繊維性のもの、水浴用とする浸透性のないゴム製等である。

【0007】鼻の左右穴に差し入れて鼻に装着するよう形成される略U字状の取り付け軸の先端に装着部を設け、弾性体の原版を鼻孔内へ装着出来る砲弾状の形状に切り取り成型して、その平らな面（以下これを底面という。）に装着用の穴を開け、その穴に前記の取り付け軸の先端の装着部を差し込み、或いは穴に装着部を差し込んで接着剤で接着若しくは溶着することにより製造される。

【0008】取り付け軸は適度な弾力性が有るU字状の合成樹脂製又は植物性樹脂製であり、その先端の装着部に装着されるマスク部には、繊維、スポンジ等の

通気性のよい吸湿性素材、或いはゴム製で水の侵入を防止可能なものが使用されており、素材により機能が異なり、用途により種類も多く設けたマスク部であって、基本的には細かいメッシュのフィルター層やゴム製である事を特徴とするものである。

【0009】請求項1に記載の本発明は、鼻孔より鼻前庭へ取り付け軸を入れて、マスク部を鼻腔の奥に装着される取り付け軸の先端部に複数のマスク部を選択的に装着することが出来る鼻マスクであって、水中演技及び空気中に浮遊している汚染物質である、花粉、塵埃、悪臭等の濾過、鼻の治療等の用途に対応出来る様々な種類のマスク部を選択的に利用する事が出来る鼻マスクの製法である。

【0010】請求項2に記載の本製法発明の実施態様は、マスク部の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形して、その底面の中心に装着穴を刃物で切れ目を入れて穿ち、取り付け軸の先端の装着部を差し込む。この場合に差し込むだけで固定されるように装着部を鉤爪形状にして、マスク部の前記装着穴に装着することを特徴とする請求項1に記載の鼻マスクの製法である。この場合のメリットは空気の流通を妨げる接着剤等を使用しないで組み立てられる。然し扱い方に因っては取り付け軸からマスク部が外れる欠点がある。

【0011】請求項3に記載の本製法発明の実施態様は、マスク部の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形して、その底面の中心に装着穴を穿ち、取り付け軸の先端装着部を接着剤でマスク部の前記装着穴に接着固定することを特徴とする請求項1に記載の鼻マスクの製法である。この場合には、メリットとして取り付け軸からマスク部が脱落する可能性が低い、接着剤が空気の流通を妨げる恐れがある。接着剤の臭いが残る可能性がある。

【0012】請求項4に記載の本製法発明は、マスク部の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形して後、その底面の中心に装着穴を穿ち、取り付け軸の先端部をマスク部の前記装着穴に抜け止めの溶着加工を行うことを特徴とする鼻マスクの製法である。この方法は、接着剤により空気の流通を妨げられる恐れがないが、溶着加工に使用出来る素材でることが必要になる。この製法は、溶着加工により取り付け軸とマスク部の固定が行われる。

【0013】請求項5に記載の本製法発明は、マスク部の2枚の原版を合わせて

、2枚の原版よりマスク部を打ち抜き、これを砲弾状に整形すると同時に、取り付け軸の先端部を挟着して抜け止めの溶着加工をすることを特徴とする鼻マスクの製法である。溶断と溶着を行い、一回の加工工程で完成出来る点でコスト面で有利である。接着剤等により空気の流通を妨げられる恐れがない。取り付け軸からマスク部が抜け落ちる可能性が少ない。然し、マスク部が溶着加工出来る素材に限られる。溶着により、取り付け軸とマスク部は固定される。

【0014】請求項6に記載の本発明は、鼻孔より鼻前庭へ取り付け軸を入れて、マスク部を鼻腔の奥に装着される取り付け軸の先端部に異なる種類のマスク部を自由に選択して装着することが出来る鼻マスクであって、空気中に浮遊している汚染物質である、花粉、塵埃、悪臭等の濾過、鼻の治療、水中演技等に対応出来る様々な種類の鼻マスクを選択的に利用する事が出来る鼻マスクの製法により製造される鼻マスクの製品である。

【0015】請求項7に記載の本発明製品の実施態様は、取り付け軸の先端にマスク部の中心を装着している取り付け軸を鼻の穴より鼻前庭に入れて鼻中隔を挟み、マスク部を鼻の奥に支持して、鼻腔内で鼻マスクが移動して取り付け軸が粘膜の表面に直接触れず、取り付け軸の接触による刺激を生じさせないようにしたことを特徴とする請求項6に記載の鼻マスクである。

【0016】

【発明の実施の形態】本発明の技術思想は、実施例において次に記載のように具体化されているものである。

【0017】鼻マスクは、取り付け軸の先端部に設けた装着部に砲弾状に成型したマスク部が装着されるために、そのマスク部の底面に刃物で装着穴を穿つ。取り付け軸の装着部3にマスク部6を装着する方法として、鉤爪形状7を装着穴に差し込み、接着剤8で接着、溶着装置15で溶着し溶着部9を形成する、溶断装置16と溶着装置15を用いて溶断と溶着を同時に行うなどの何れか一つ或いはこれらの二つの方法を複合して行う。

【0018】前記の取り付け軸は、略U字状に成型してあり、これによって鼻腔の奥にマスク部を装着出来るようにする。これは、U字状のものにして、外観上鼻孔の美観を損なわず、鼻前庭に入れて鼻中隔を挟み付けて、マスク部を鼻腔内

に安定させて、クシャミのような内圧により鼻マスクが抜けて脱落しないようにする。鼻腔内面を刺激しないように、材質は柔軟性があり、弾力性がある合成樹脂又は植物性樹脂で製作し、U字状の形状により鼻前庭に入れて鼻中隔を挟み付けて容易に抜け落ちないように滑り止めを設けてある。

【0019】取り付け軸の先端に装着するマスク部は、鼻マスクの装着時に鼻腔内に位置している砲弾状に成型してある弾性体であって、水中演技用のマスク部及び塵埃、花粉等で汚染された空気を濾過して清浄にするフィルター層のマスク部、或いは治療用の薬品の浸透性があるマスク部等を製作する。マスク部の弾性体には、クッション材として選択される例として、セルロース繊維製スポンジのように通気性と吸湿性があって、内粘膜を過度に刺激しないと共に鼻腔内の形状にフィットする柔軟性があるものが望ましい。その弾性体の条件は、水中演技用の水の浸透性のないもの及び花粉、塵埃、煤煙、腐敗臭等の悪臭、窒素酸化物やダイオキシン等の有害物質が含まれる汚染空気を濾過するフィルターとしては、清浄な空気にすることが出来る細かいメッシュを有し、紙、綿、合成樹脂、植物性樹脂等の微細な繊維製の前記の汚染空気の濾過可能なものが好ましく、更に薬品を滴下すれば吸収されて弾性体に含浸させることが出来る吸湿性と浸透性があるものなどが必要である。

【0020】取り付け軸は略U字状に形成し、鼻腔の奥にマスクを装着するためにマスクを鼻中隔に固定するための付属部品であって、先端に装着部が設けてあって、装着部にはマスク部を差し込み、必要に応じて接着剤で接着し若しくは熱溶着する。これに支持されて鼻腔内に挿入されるマスク部は、鼻腔内になじむ柔軟な弾性体であり、鼻の内粘膜を刺激しないように吸湿性があって、鼻薬を滴下して湿潤に保持し、通気性も保持出来ることが望ましい。マスク部は、ゴム等により水の浸透性がない材質を使用する場合もある。

【0021】マスク部には、薬品の液体を滴下すれば、液体は浸透して弾性体に含浸され、鼻に装着して体温と呼吸により気化させた薬品を鼻腔内に吸引する治療用の道具としても利用出来るものである。実施形態によっては、マスク部の弾性体は、汚染空気の濾過用フィルター、治療用のもの、水中演技用浸水性のないもの、これらの機能別種類によって使用者が好みのものを選択して取り付け軸に

装着して使用する事が出来るようにする。

【0022】

【実施例】添付図面は、本発明の実施例について図示している。

図1は、鼻マスクの正面図、図2は、マスク部の正面図、図3は、取り付け軸の正面図、図4は、取り付け軸の先端にマスク部を装着した鼻マスクの側面図、図5は、マスク部の原版からマスク部を打ち抜き装着穴を穿つ工程を示す斜視図、図6は、取り付け軸の先端に差し込み装着するマスク部を示す斜視図、図7は、取り付け軸の先端に接着して装着するマスク部を示す斜視図、図8は、取り付け軸の先端に溶着して装着するマスク部を示す側面図、図9は、マスク部の原版を合わせている斜視図、図10は、同上マスク部の原版を合わせて、マスク部を打ち抜き取り付け軸に溶着する工程を示す斜視図、図11は、鼻マスクの使用状態を顔の側面より図示する断面図をそれぞれ示すものである。図面に基づいて、実施例について詳細に説明する。

【0023】

【実施例1】この実施例は、本発明の実用化をするに当たって、使用者が取り付け軸に複数の機能が異なるマスク部を選択的に装着出来るようにし、携帯可能にすることを前提にして、発明思想が具体化される1例を示すものである。

【0024】この実施例に係る鼻マスク1は、取り付け軸2の先端に装着部3を設け、装着部3にマスク部6の装着穴5を装着して設けたものである。左右の鼻孔より取り付け軸2の先端を差し入れてU字状の形状で鼻中隔12を挟み、鼻前庭11に入れた取り付け軸の先端のマスク部6を鼻腔内13へ挿入する事が出来るようにしたものである。

【0025】取り付け軸2の先端には装着部3を設け、マスク部6の底面中心に刃物14を差し込んで穿った装着穴5に前記の装着部3を抜け止めのために鉤爪形状7にして差し込み、取り付け軸2の先端にマスク部を固定する。その場合に、装着部3の鉤爪形状7により抜け止めとして、更に接着剤8で装着部を装着穴に接着して固定しておくようにすることが望ましい。

【0026】マスク部6は、数種の機能によって分類され、鼻マスク1を水中演技用として使用される場合にはマスク部も柔軟なゴムのような浸透性がないもの

で形成される。鼻マスク 1 を汚染空気の濾過用マスクとして使用される場合には、鼻孔 1 0 より吸入される汚染空気を濾過して清浄な空気にすることが出来る細かいメッシュの通気性かつ吸湿性であるフィルター層である事が望ましい。更に鼻マスク 1 は、取り付け軸 2 の装着部 3 に治療用薬液の浸透性のよいマスク部 6 を装着する場合もある。この治療用鼻マスクは、薬液を滴下すれば浸透して含浸させることが出来る浸透性のよい繊維を使用した治療用に利用出来るようにしたものである。

【0027】前記取り付け軸 2 は、鼻孔 1 0 より鼻前庭 1 1 に差し込まれ、その内面で鼻中隔 1 2 を挟み鼻に固定され、外観上は装着状態を見ることが出来ないため、装着が人に気付かれない程度になる。取り付け軸 2 の内面には滑り止め 4 を設けてあり、その先端部はマスク部の底面中心に装着される。このために、取り付け軸 2 は鼻腔の内粘膜に当たらない。取り付け軸 2 は、柔軟な合成樹脂製又は植物性樹脂製であって、先端の装着部 3 にマスク部 6 を取り付ける場合には、マスク部の装着穴 5 に差し込まれる。この場合に装着部 3 の差し込みに加えて、接着剤 8 により確実に接着してもよい。差し込み加減により、若干の長さの調整も可能である。従って、取り付け軸 2 の長さは刺激にならない程度に限定しなければならない。

【0028】

【実施例 1 の使用状態について】鼻マスクの使用者は、水浴用、花粉症用、鼻血の止血等治療用の機能別の使用目的により異なる種類のマスク部を取り付け軸 2 に装着して使用する。例えば、花粉や塵埃が多い場所では、空気の浄化に適したフィルター層のマスク部 6 を取り付け軸 2 の先端に装着して使用する。水浴に際して水中演技用マスク部、鼻血治療用の薬品の液体を滴下してあるマスク部等いずれの使用をする事も可能である。複数のマスク部を容器に入れて携行して、外出時これを必要に応じて取り付け軸に装着使用が出来るようにしたものである。

【0029】

【発明の効果】本発明の効果は、請求項 1 乃至請求項 7 の各項に記載の構成により次に記載の効果を奏するものである。

【0030】本発明に係る鼻マスクは、鼻孔より鼻前庭へ取り付け軸を入れて、

機能が異なる数種のマスク部を選択的に鼻腔の奥に装着されるようにしたものである。このために取り付け軸の先端部に、数種のマスク部から自由に選択して使用者の好みのマスク部を装着することが出来る。マスク部は、水浴、空気中に浮遊している汚染物質である、花粉、塵埃、悪臭等の濾過、治療等に機能別に対応する事が出来るように、様々な種類を用意して使用者が選択的に利用する事が出来る。

【0031】取り付け軸の先端には、マスク部の底面の中心に装着穴を穿って、装着、接着、或いは取り付け軸とマスク部の装着穴を溶着加工している。取り付け軸で鼻の穴より鼻前庭に入れられて鼻中隔を挟み、マスク部の弾性体を鼻の奥に支持されるため、鼻腔内で鼻マスクが移動して取り付け軸が粘膜の表面に直接接触せず、その刺激によりクシャミが発生することなく、クシャミにより内圧で外れ易いという問題を生じさせない。

【0032】鼻マスクは、吸湿性のマスク部により鼻水が出るのを防止する事が出来るし、花粉症の治療薬、鼻血の止血薬等の鼻薬、消臭のために香水等のいずれかの液体を予め滴下してマスク部に浸透させて、取り付け軸に装着して、鼻薬或いは香水を鼻腔の奥に位置させて、気化吸引し効果的に作用させる事が出来る。マスク部に含浸させた液体は、体温により加温されて気化して、呼吸と同時に鼻腔内へ吸引出来るものであるので、効果的な治療のための衛生用品としても鼻マスクを使用出来るものである。

【0033】以上本発明の効果により、鼻の美観を損なわずに、数種の機能別の異なる種類のマスク部を選択的に利用出来るようにしたので、空気の汚染された所に出る場合、治療用に利用する場合、水浴の際に水中演技に利用する場合の何れにおいても、必要性、意外性、話題性、時代性を備えている鼻マスクを提供する事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】鼻マスクの正面図

【図2】マスク部の正面図

【図3】取り付け軸の正面図

【図4】取り付け軸の先端に装着したマスク部を示す側面図

【図5】マスク部の原版からマスク部を打ち抜き装着穴を穿つ工程を示す斜視図

【図6】取り付け軸の先端に差し込み装着するマスク部を示す斜視図

【図7】取り付け軸の先端に接着して装着するマスク部を示す斜視図

【図8】取り付け軸の先端に溶着して装着するマスク部を示す側面図

【図9】マスク部の原版を合わせている斜視図

【図10】同上マスク部の原版を合わせて、マスク部を打ち抜き取り付け軸に溶着する工程を示す斜視図

【図11】鼻マスクの使用状態を顔の側面より図示する断面図

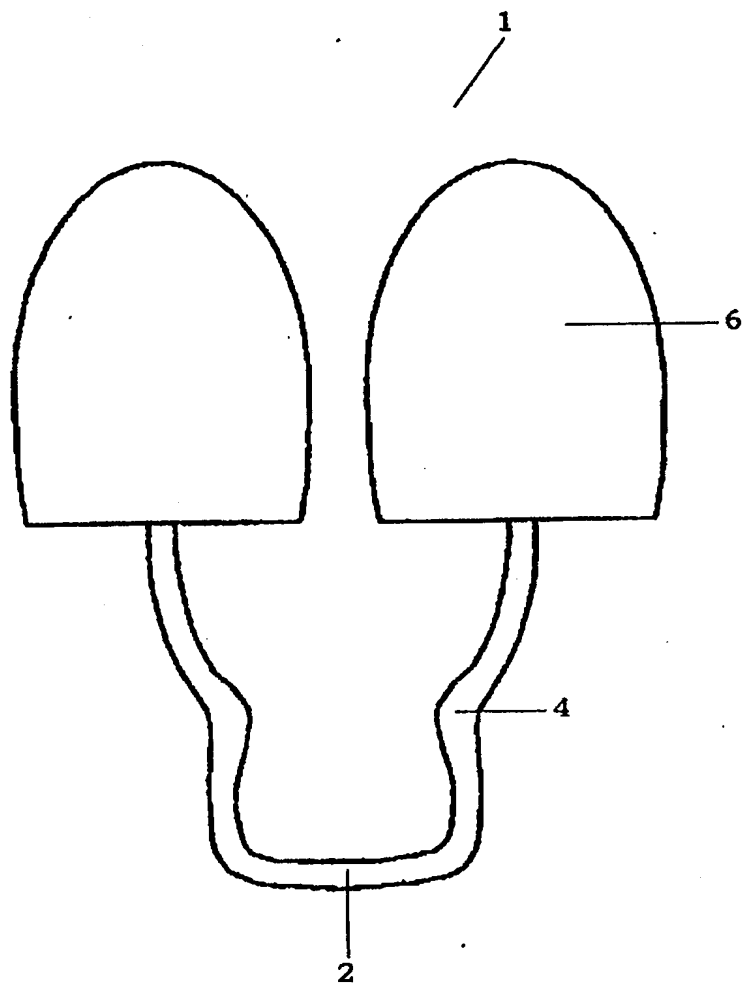
【符号の説明】

- 1... 鼻マスク
- 2... 取り付け軸
- 3... 装着部
- 4... 滑り止め
- 5... マスク部の装着穴
- 6... マスク部
- 7... 差し込み用の鉤爪形状
- 8... 接着剤
- 9... 溶着部
- 10... 鼻孔
- 11... 鼻前庭
- 12... 鼻中隔
- 13... 鼻腔
- 14... 刃物
- 15... 溶着装置
- 16... 溶断装置

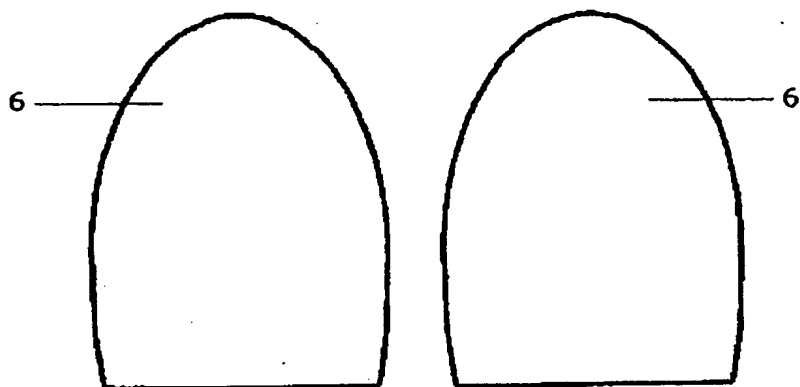
特2002-230316

【書類名】 図面

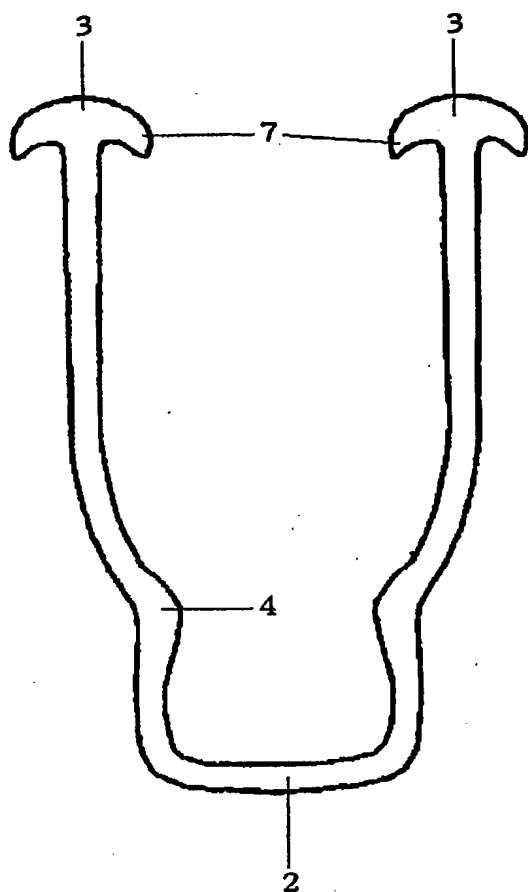
【図 1】



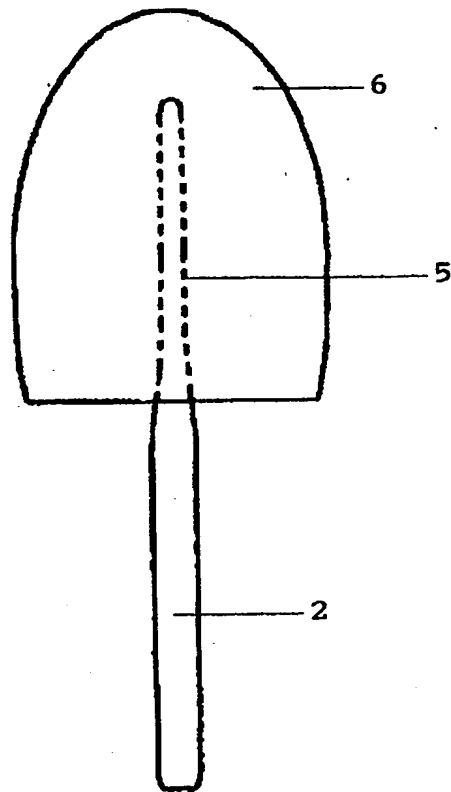
【図2】



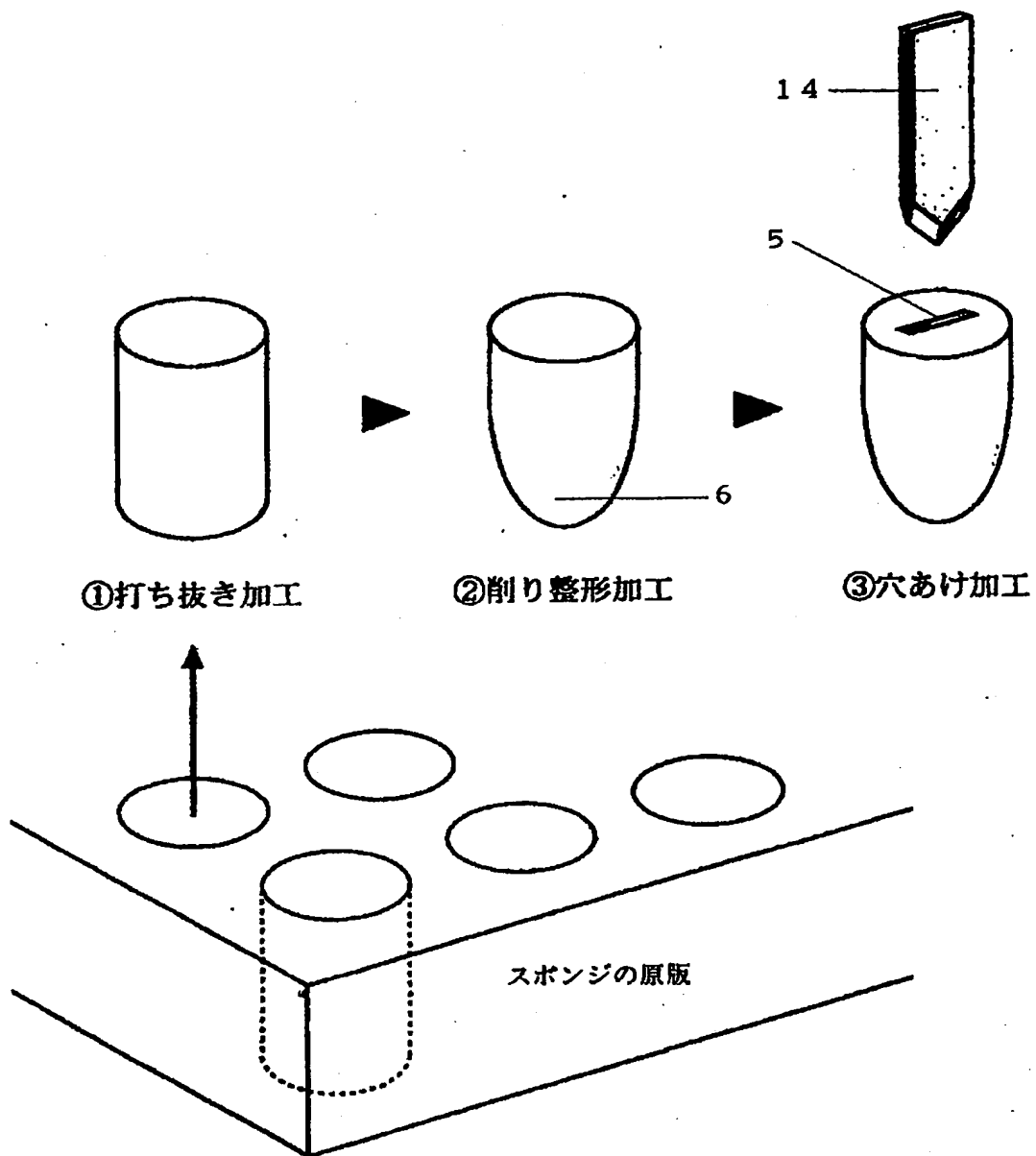
【図 3】



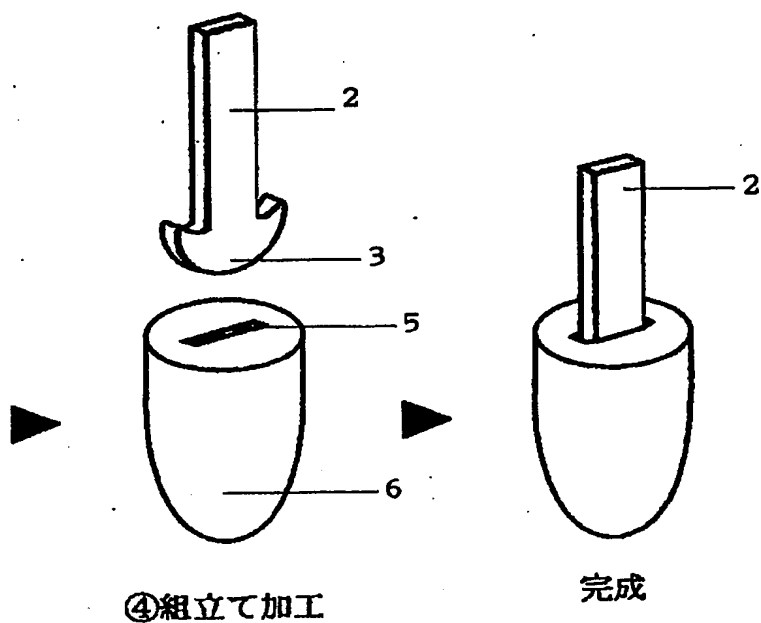
【図4】



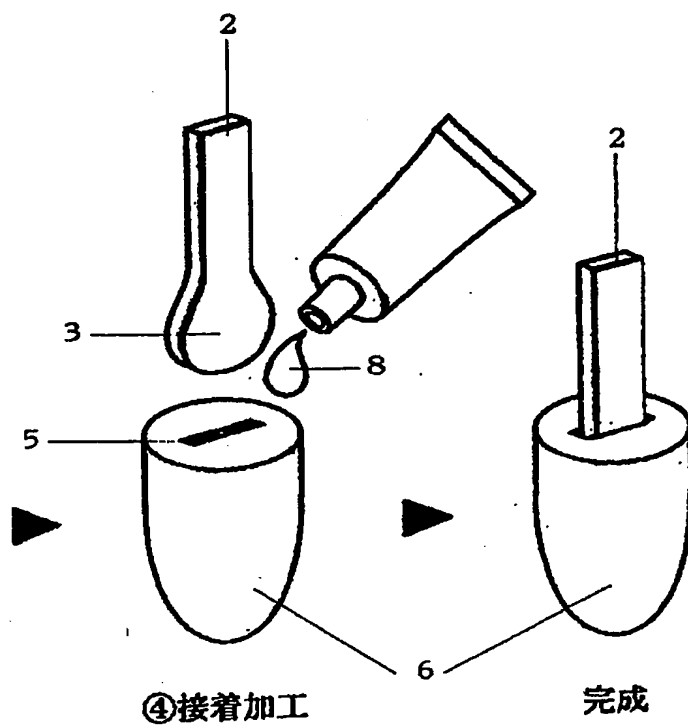
【図5】



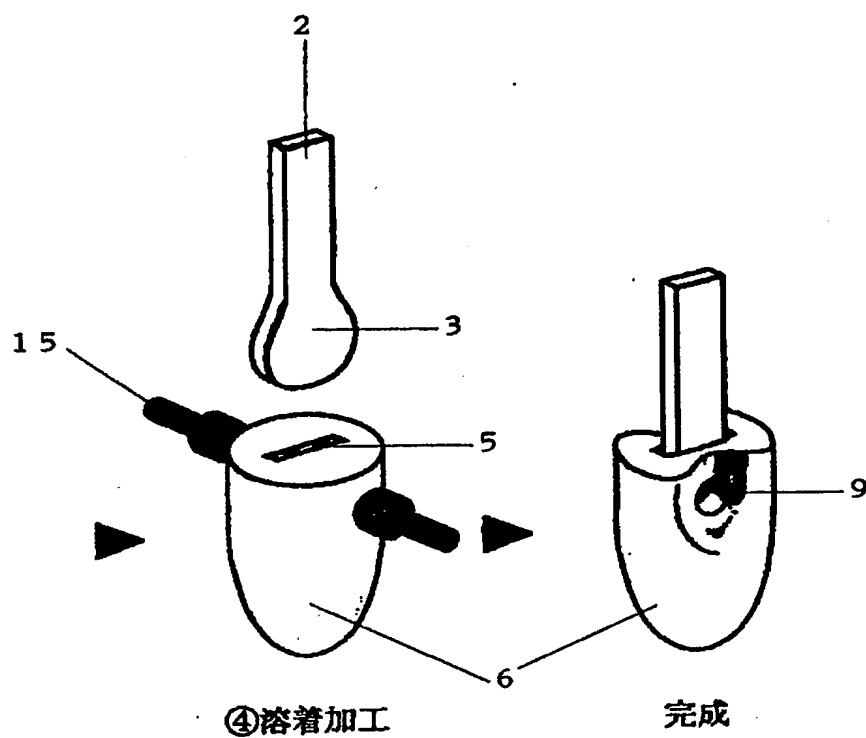
【図6】



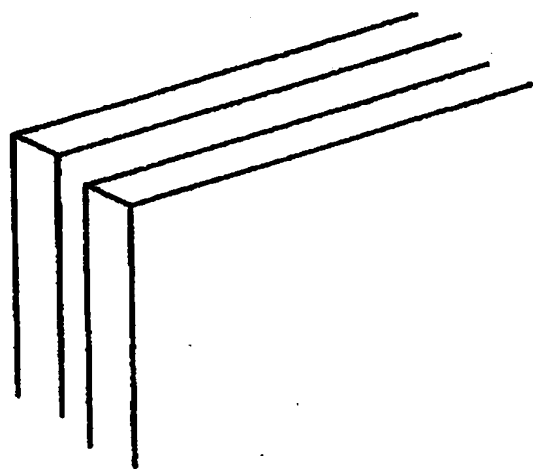
【図7】



【図 8】



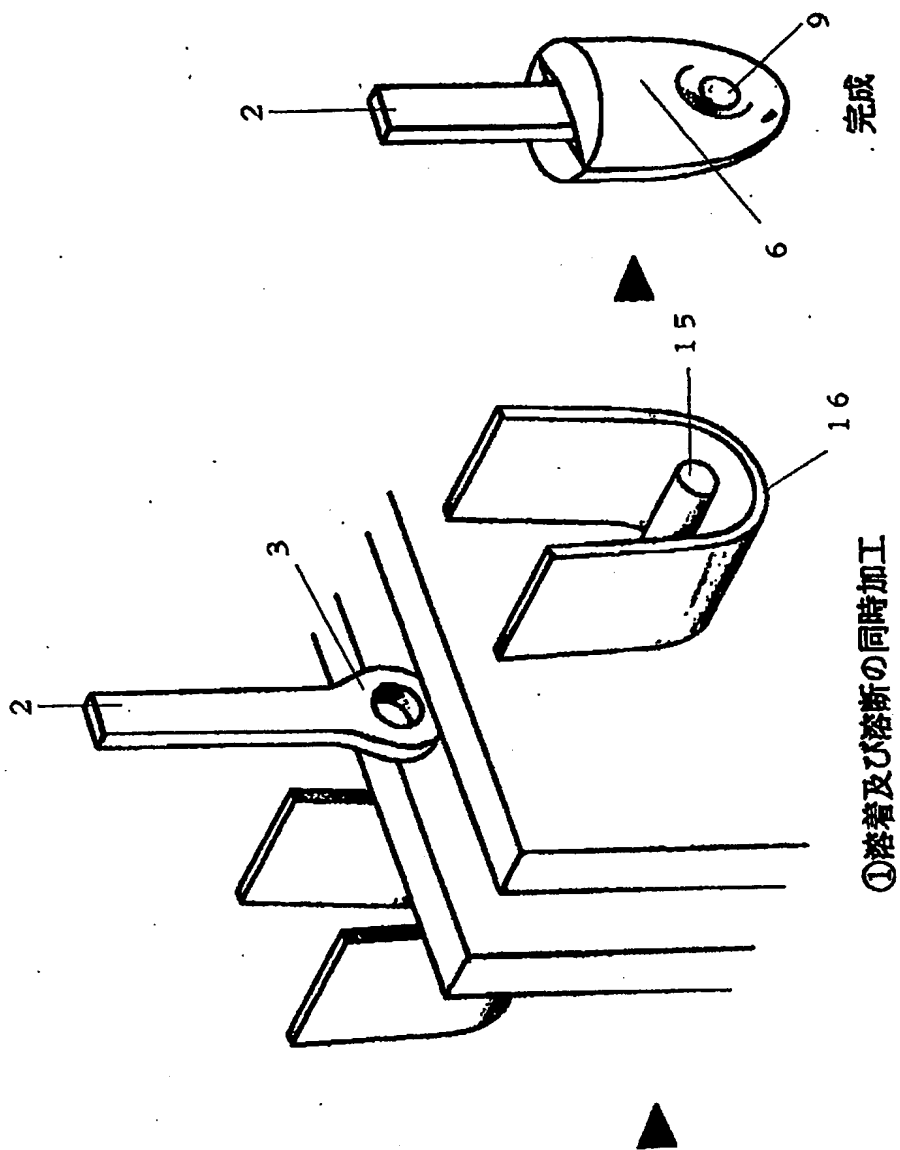
【図9】



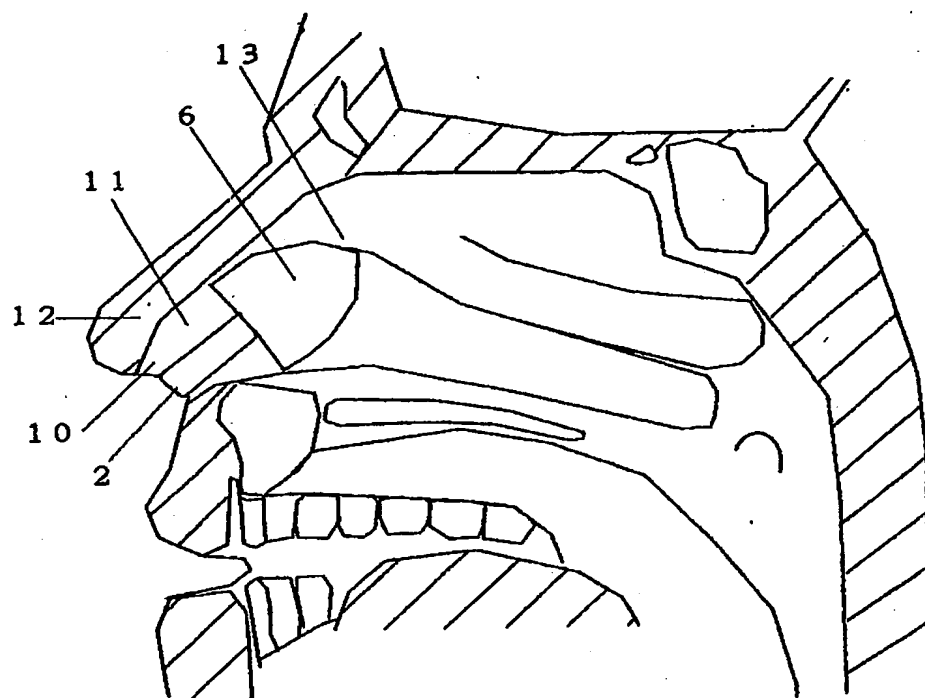
スポンジの原版



【図 10】



【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、取り付け軸に機能の異なる数種のマスク部を選択的に装着する新しい鼻マスクの製法に関し、その製品の鼻マスクは取り付け軸に機能の異なる数種のマスク部を選択的に自分で取り付けすることができる。鼻腔に装着しても鼻の美観を損ねる事なく利用出来る。

【解決手段】 鼻マスク 1 は、機能が異なる数種のマスク部 6 を自分で選択して取り付け軸 2 に取り付け、鼻孔より鼻前庭に取り付け軸を差し入れて、鼻中隔を挟み、マスク部を鼻腔に装着するよう形成される。取り付け軸 2 と軸先端の装着部 3 に差し込まれるマスク部 6 からなる。マスク部は種類によって、通気性や水の浸透性がない水中演技用、通気性がありかつ液体の吸湿性のよい繊維製材質で汚染空気を濾過することが出来る細かいメッシュのフィルターを有するもの、薬液等の液体を含浸可能なもの等の機能によって分類され、水浴、外出、鼻の治療の際にそれぞれ選択的に利用出来るようにする。

【選択図】 図 1

職権訂正履歴 (職権訂正)

特許出願の番号

特願 2002-230316

受付番号

50201174876

書類名

特許願

担当官

山内 孝夫

7676

作成日

平成 14 年 8 月 12 日

<訂正内容 1>

訂正ドキュメント

明細書

訂正原因

職権による訂正

訂正メモ

【発明の詳細な説明】の前に改行を追加しました。

訂正前内容

。【発明の詳細な説明】

訂正後内容

。【発明の詳細な説明】

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2002-230316
受付番号	50201174876
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0093
作成日	平成14年 8月14日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成14年 8月 7日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [501331212]

1. 変更年月日	2001年 8月21日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛媛県松山市平和通三丁目1番地26
氏 名	バイオインターナショナル株式会社